


社会保障・税番号制度の詳細やお問い合わせは


社会保障・税番号制度の最新情報やお問い合わせ

- ・内閣官房「社会保障・税番号制度」ホームページ
<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/index.html> (マイナンバー)
- ・マイナンバーのコールセンター (全国共通ナビダイヤル) **0570-20-0178**
※ ナビダイヤルは通話料がかかります 平日9時30分～17時30分(土日祝日・年末年始を除く)

国税に関する社会保障・税番号制度の最新情報

国税庁ホームページのトップページにある  をクリック
<http://www.nta.go.jp/mynumberinfo/index.htm>

法人番号の最新情報

国税庁ホームページのトップページにある  をクリックし、
「法人番号について (ご紹介コーナー)」をご覧ください。



 国税局・税務署

随 筆

私の子どもの頃は、大きな台風が来ると南千住の町は水浸しになっていた、床下浸水はたびたびあり、床上浸水で大騒ぎした事もあった。テレビのニュースで災害にあわれた水浸しの町の映像を見ると、いつかはまた荒川の町も洪水に見舞われるのではないかという漠とした不安を感じていた。図書館で、高嶋哲夫著「東京大洪水」という小説を見つけ、題名にひかれ読んでみた。

荒川・隅田川の流量を超える大型台風が東京を襲い、堤防の決壊、溢水が起きた時、その時に何が起るのか。具体的な風景が作家の綿密な調査と豊かなイマジネーションによって描かれている。下町に溢れた水は、地下鉄網を通じて都心に流れ込み、地下街に溢れ、被害は私の子どもの頃経験したものより、格段に広域に複雑に、そして

多岐にわたるものとなる。

小説では、荒川の氾濫を予想して論文を書いた気象学者や建築中の高層マンションを住民の避難所として提供する建設会社などの協力により被害は最小限に食い止められていく。避難指示を無視して「どうせ台風が通り過ぎるまでのことだろう。大騒ぎすることはない」と決め込む人、避難

所であって不安な気持ちを不平不満としてぶつける人など、色々な人間模様が描かれているが、いざその時には自分は冷静な態度と的確な行動をとれるだろうか問われるだろう。

「東京大洪水」を読んで

南千住支部長 湯田啓一

災害について日頃より関心を持ち、先に備えておくことで、人の助けを待つ人から、人を助ける人になることが出来る。そういう人の協力が被害を最小限に抑えることが出来る。そんなことを教えられた。

ぜひご一読をお薦めする。